

ご家族・お知り合いの先生を ご紹介ください

保険医協会は県下で7,200人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。保険請求対策、審査指導対策、新規開業医研究会、医院経営研究会、歯科定例研究会など開業医師・歯科医師の診療、経営、生活を全面的にサポートします。

また、3大共済制度(グループ保険・保険医年金・休業保障制度)への加入など、県下で1,500人を超える勤務医の先生方にご利用いただいております。

新たに誕生した積み立て年金「DefL」も好評をいただいています。

ご家族やお知り合いの先生で、まだ協会未入会の先生がいらっしゃるいましたら、紹介状などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ等は、組織部(Tel 078-393-1817)まで



健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



< 12月のテーマ >

月曜日 冬に流行る乳幼児の嘔吐下痢症
火曜日 お酒との上手な付き合い方
水曜日 おりもの(帯下)について
木曜日 血尿が出たら
金土日 飲み込みにくくなったら
(12月29日(木)~1月6日(金)は「旅行中の薬の飲み方」を放送)

< 1月のテーマ >

月曜日 高齢者肥満に対する減量のすすめ
火曜日 オーラルフレイル
水曜日 近頃行われている痔核治療
木曜日 乳がんの早期発見・早期治療
金土日 若い人の薄毛
(1月9日(月)は金土日曜日のテーマを放送)

兵庫県保険医協会のホームページは

<http://www.hhk.jp/>

*生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、生活を支える共済制度のご紹介、日々の協会活動報告を掲載しております。ぜひご覧ください!

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2016年 11月25日号 No.265

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

第31回支部総会・記念講演 感想文

医科歯科連携の重要性を実感

川辺郡・小松邦志 先生

支部は10月2日に第31回支部総会記念講演「お口の中から考える健康長寿～オーラルフレイル(口腔虚弱)をご存じですか?」を行った(前号既報)。参加した小松邦志先生(川辺郡・こひつじクリニック)の感想文を紹介する。



私は猪名川町で内科・外科・緩和ケア内科の、訪問を中心とした診療を行っています。

今回、足立了平先生のご講演をお聞きすることができて、大変勉強になりました。

足立先生が口腔ケアの重要性を解説

恥ずかしながら、私は「フレイル」という概念さえ、よく知りませんでした。確かに、これまでの日常診療の経験を振り返っても、健康→プレフレイル→フレイル→要介護状態という流れは、非常に納得できるものです。より早期の段階で、適切な対策を講じれば、より良い経過が期待できるのも容易に想像できます。

オーラルフレイルという概念についても初めてお聞きしたものではありませんが、よく分かりました。「体の健康は、歯の健康から」ということですね。

今後、訪問診療で担当している患者さまの口腔内の状態、歯の状態に十分注意していこうと思います。おそらく、自宅で療養しておられる高齢の患者さまの場合、ほぼ全例で、歯科の先生によるオーラルフレイルのスクリーニングや評価の対象になるのではないかと思います。これからは歯科の先生と積極的に連携していこうと思います。

ただ、今まで歯科の先生と連携して診療に当たったことがほとんどありません。各地域で、訪問でのオーラルフレイルの予防や治療に積極的な歯科の先生がどなたなのか、情報があればありがたいと思います。

会員投稿コーナー

戦時下の思想弾圧～京都大学滝川事件(上)

伊丹市・小泉医院 小泉 勇 先生

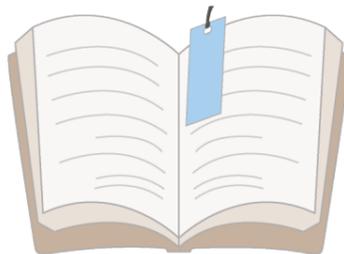
戦争時代のことを書いてほしいということですが、1931年には私が「ぼくは軍人大好きよ。今に大きくなったなら、勲章付けて剣下げて、お馬に乗ってハイ、ドウドウ」と得意になって歌っていた時期は終わっていました。

その年、関東軍が軍事行動を起こし(満州事変勃発)、国際連盟理事会が満州撤兵勧告案を可決。しかしその後も日本軍は、中国本土に戦線を拡大(上海事変)、連盟調査報告書に反対して、国際連盟を脱退するに至り、国外では日本がいよいよ孤立し、非常時が深刻になりつつありました。

国内では反動の嵐が吹き荒れていました。右翼のテロリズムの波は一応去り、左翼も小林多喜二の虐殺事件が人々の目を引いたぐらいでしたが、「転向」時代が始まっていたのです。その中で政治の中心に進出した軍部は、それに便乗する官僚や政治家を動かして、着々と準戦時体制を固めていきました。ここでまず強く表れて来たのが、思想対策でした。

社会主義の運動は下火になっていましたが、その「危険思想」はなお根深くありました。だからそういう不穏な思想を追放し、国体明徴を図らなければ、国防の安全は保てないと考えました。この「危険思想」や「不穏思想」というのは、はじめはもちろん共産主義でした。しかし次第に、それは拡大解釈されるようになり、社会主義思想はむろんのこと、自由主義、平和主義、国際主義など、軍部の政策に批判的な思想は、すべて「アカ」とされることになっていきました。

こういう大きな反動的な動きにとっては、学問・思想も大学の自治もまったく尊重に値しないものだったのです。それどころか、そういう場所こそ危険思想の温床であり、これに一撃を加えて「教育刷新」を行うことが何よりの思想対策とされました。その最初の一撃が1933年の京都大学の滝川事件でした。(つづく)



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail arimoto@doc-net.or.jp 担当：有本まで

—新春政策研究会のご案内—

税制改革と社会保障の財源論(仮)

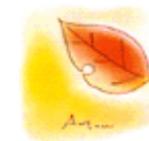
講師 加藤 擁一先生
(協会政策部長)

日時 2017年1月21日(土) 16:00～18:00

会場 いたみホール
5階会議室1
(伊丹市宮ノ前1丁目1-3
TEL: 072-778-8788)

※終了後、懇親会を予定

お問い合わせは、北阪神支部担当事務局
(Tel 078-393-1817) 有本・横山・小川まで



幹事会だより

第351回 11月10日(木)伊丹市産業・情報センター会議室 参加4人

◆北阪神支部の会員数と組織率

10/31現在 医科328人(72%)、歯科183人(56%)

◆情勢と医療運動対策

①地域医療構想、アメリカ大統領選挙結果とTPPへの影響などの情勢②俳句企画(11/19)、新春政策研究会(1/21)などについて意見交換した。

◆当面の支部活動

1月21日 新春政策研究会「税制改革と社会保障の財源論」16時～
於・いたみホール会議室1

◆次回幹事会

12月1日(木)14時30分～ 於・宝塚商工会議所特別会議室B

お問い合わせはTEL 078-393-1817 有本・横山・小川まで